



2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社キリン堂ホールディングス
 コード番号 3194 URL <https://www.kirindo-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 寺西 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 小林 剛久

TEL 06-6394-0100

四半期報告書提出予定日 2020年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	99,273	2.2	1,633	40.6	2,306	25.6	1,134	15.5
2019年2月期第3四半期	97,091	2.4	1,161	9.3	1,836	13.1	982	6.7

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 1,139百万円 (16.2%) 2019年2月期第3四半期 980百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	100.93	
2019年2月期第3四半期	88.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	55,134	15,684	28.3
2019年2月期	50,561	14,911	29.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 15,621百万円 2019年2月期 14,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		17.50		17.50	35.00
2020年2月期		19.00			
2020年2月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	1.9	2,590	27.3	3,440	17.3	1,600	8.7	142.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	11,332,206 株	2019年2月期	11,332,206 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	60,207 株	2019年2月期	118,858 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	11,241,481 株	2019年2月期3Q	11,158,656 株

(注)期末自己株式数には、キリン堂ホールディングス社員持株会信託が保有する自社の株式を含めております(2020年2月期3Q 59,000株、2019年2月期 117,700株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2020年2月期3Q 89,542株、2019年2月期3Q 172,392株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済状況は、米中貿易摩擦の動向や英国のEU離脱問題等の影響が懸念され、先行きの不透明感が強まっています。また、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費はゆるやかな回復基調で推移しているものの、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向等を注視する必要があります。景気の先行きについて、予断をゆるさない状況が続いております。ドラッグストア業界におきましては、市場規模が拡大する一方、業種・業態を超えた競争は激化しており、業界再編の動きも活発化しています。

このような環境のもと、当社グループでは「当社の強みである未病対策を、お客様に提案すること」「お客様の利便性を高めるための品揃え、サービスを提供すること」を基本方針とし、収益性の向上を第一の目標に掲げ、新たな企業価値を創造して、他社と差別化できるよう取り組んでまいりました。その成果として、粗利益率は改善傾向が続いており、販管費の伸びも比較的コントロールできています。しかしながら、来店客数やシーズン商品の販売などにおいて計画進捗の遅れが発生しており、十分な結果に結びつけることができていません。さらなる改善を加えながら、目指す方向に向けて、この努力を継続します。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<小売事業>

当第3四半期連結累計期間におきまして、7月に長梅雨により気温が上がらず、夏物商品の需要が落ち込み、9月には消費税増税前の駆け込み需要がありましたが、翌月からはその反動減がありました。当社グループは前述の基本方針のもと、お客様の利便性を高める店舗改装と、自社電子マネー付きポイントカード「KiRiCa（キリカ）」の導入拡大を進めたことなどにより、客単価が上昇したことや、調剤部門の売上が伸びたことなどにより、セグメント売上高は増収となりました。

セグメント利益につきましては、比較的利益率の高いヘルス&ビューティケア部門のPB商品の販売増と調剤事業拡大により、増益となりました。

出退店状況におきましては、ドラッグストア8店舗（内、調剤薬局併設型2店舗）、調剤薬局3店舗の合計11店舗を出店する一方、ドラッグストア11店舗、調剤薬局2店舗の合計13店舗を閉店いたしました。また、他社から調剤薬局3店舗の譲受を行いました。結果、当第3四半期連結会計期間末の当社グループ国内店舗数は370店舗となりました。

	前 期 末	出 店	子会社化等による新規増加店舗	閉 店	既存ドラッグストアへの調剤薬局併設	当第3四半期末
ドラッグストア	329	8	—	△ 11	—	326
（内、調剤薬局併設型）	（ 48）	（ 2）	（ —）	（ —）	（ 2）	（ 52）
調剤薬局	39	3	3	△ 2	—	43
FC店	1	—	—	—	—	1
合計	369	11	3	△ 13	—	370

この結果、小売事業の売上高は982億6百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は20億55百万円（同35.8%増）となりました。

<その他>

その他事業の売上高は10億66百万円（前年同期比33.0%減）、セグメント利益は47百万円（同68.4%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は992億73百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は16億33百万円（同40.6%増）、経常利益は23億6百万円（同25.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億34百万円（同15.5%増）となり、いずれも期初計画を下回ることになりましたが、増収増益を継続することができました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ45億72百万円増加し、551億34百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加29億78百万円、たな卸資産の増加14億10百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ37億99百万円増加し、394億49百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加12億22百万円、電子記録債務の増加4億91百万円、短期借入金の増加8億円などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億73百万円増加し、156億84百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加7億20百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、2019年4月10日公表の予想を修正いたしました。詳細は、本日別途公表いたしました「2020年2月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,844	10,822
受取手形及び売掛金	2,603	3,184
たな卸資産	14,991	16,402
その他	2,908	2,766
流動資産合計	28,348	33,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,472	8,952
その他（純額）	2,321	2,326
有形固定資産合計	11,793	11,278
無形固定資産	970	905
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,672	4,717
その他	5,140	5,419
貸倒引当金	△365	△363
投資その他の資産合計	9,448	9,774
固定資産合計	22,212	21,958
資産合計	50,561	55,134

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,447	10,670
電子記録債務	7,994	8,485
短期借入金	600	1,400
賞与引当金	568	149
店舗閉鎖損失引当金	—	35
その他	5,622	7,300
流動負債合計	24,232	28,041
固定負債		
長期借入金	8,665	8,741
退職給付に係る負債	1	2
資産除去債務	1,475	1,470
その他	1,274	1,194
固定負債合計	11,417	11,407
負債合計	35,650	39,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	5,447	5,447
利益剰余金	8,462	9,183
自己株式	△96	△48
株主資本合計	14,813	15,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	39
その他の包括利益累計額合計	44	39
非支配株主持分	53	62
純資産合計	14,911	15,684
負債純資産合計	50,561	55,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	97,091	99,273
売上原価	71,542	72,664
売上総利益	25,548	26,608
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	10,350	10,585
賞与引当金繰入額	142	147
賃借料	5,034	5,073
その他	8,858	9,169
販売費及び一般管理費合計	24,387	24,975
営業利益	1,161	1,633
営業外収益		
受取情報処理料	410	429
受取賃貸料	349	332
その他	314	294
営業外収益合計	1,074	1,055
営業外費用		
賃貸費用	302	295
その他	96	86
営業外費用合計	399	382
経常利益	1,836	2,306
特別利益		
固定資産売却益	1	56
その他	—	0
特別利益合計	1	57
特別損失		
減損損失	85	381
その他	147	85
特別損失合計	232	467
税金等調整前四半期純利益	1,605	1,896
法人税、住民税及び事業税	791	1,042
法人税等調整額	△159	△290
法人税等合計	632	752
四半期純利益	972	1,143
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	982	1,134

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	972	1,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△4
繰延ヘッジ損益	0	—
その他の包括利益合計	8	△4
四半期包括利益	980	1,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	990	1,130
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	95,498	1,592	97,091	—	97,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	292	292	△292	—
計	95,498	1,885	97,383	△292	97,091
セグメント利益	1,513	28	1,541	△379	1,161

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業及び海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△379百万円には、セグメント間取引消去43百万円、のれんの償却額△67百万円、営業権の償却額△10百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△344百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、主として店舗を基本単位としてグループ化しております。その結果、市場価格の著しい下落又は収益性の悪化等により、回収可能価額が帳簿価額を下回った資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「小売事業」セグメントの減損損失の計上額は85百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	98,206	1,066	99,273	—	99,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	373	373	△373	—
計	98,206	1,440	99,647	△373	99,273
セグメント利益	2,055	47	2,102	△469	1,633

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業及び海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△469百万円には、セグメント間取引消去25百万円、のれんの償却額△135百万円、営業権の償却額△10百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△348百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、主として店舗を基本単位としてグルーピングしております。その結果、市場価格の著しい下落又は収益性の悪化等により、回収可能価額が帳簿価額を下回った資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「小売事業」セグメントの減損損失の計上額は381百万円であります。

3. 補足情報

販売の状況

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
小売事業 (百万円)	98,206	2.8
その他 (百万円)	1,066	△33.0
合計 (百万円)	99,273	2.2

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
2. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

区分		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)		
		売上高 (百万円)	対前年同四半期 増減率 (%)	構成比 (%)
商品売上高	医薬品	15,653	0.6	15.9
	健康食品	3,398	△3.2	3.5
	化粧品	24,336	2.8	24.8
	育児用品	2,200	△3.1	2.2
	雑貨等	40,872	2.3	41.6
	計	86,461	1.7	88.0
調剤売上高		10,701	12.7	10.9
その他		1,043	1.8	1.1
合計		98,206	2.8	100.0

(注) 小売事業の「その他」は、ネット通販売上高等であります。